

過去の南海トラフ地震とその記録

震 災	月 日	状 況
白 鳳 地 震	684年11月29日	建物の破壊、人畜の死傷多く、土佐の田畑12平方キロメートルが海となる。津波あり。 ※南海・東南海・東海3連動型とされる
仁 和 地 震	887年8月26日	五畿七道大いに震う。近海津波来襲し、死傷者多し。
康 和 地 震	1099年2月16日	記述などなし。痕跡あり。
正 平 地 震	1361年8月3日	津波被害甚大。香美郡田村(南国市)の下庄正奥寺に高潮上がる。
慶 長 地 震	1605年2月3日	地震い大津波あり。死者5000人に上り、崎の浜、甲浦、阿波穴喰で浸死者続出。 ※南海・東南海・東海3連動型
宝 永 地 震	1707年10月28日	有史時代最大の地震の潰家29000、死4900。津波は土佐にて20m余り。海辺の在家一所として残る方なし。高知では潮江、下知、江ノ口より、一宮、布師田、大津、介良、下田衣笠まで海となる。 ※南海・東南海・東海3連動型
安政南海地震	1854年12月24日	地震、大津波で被害甚し。土佐、紀伊、阿波などで死者3000。土佐湾沿いの赤岡以西はすべて被害被る。 ※南海単独 前日に東南海東海地震有
昭和南海地震	1946年12月21日	震害は四国、九州、近畿、中国、中部地方に及び、大津波来襲して全国で1330人の死者が出た。高知は震度5で午前4時19分に発震、地震後6波の津波あり。県下の死者670、不明9、傷者1836、家倒壊4834。 ※南海単独



東日本大震災から9年が過ぎました。そう遠くない時期に起きると予想されている南海トラフ地震について、今一度歴史を確認してみましよう。

上記のとおり、南海トラフ地震は過去に何度も起きていた災害です。多少の幅はありますが100年から150年周期で起きるとされています。また、記述からわかる限りでは、津波が来襲し、被害も出ていることがわかります。

このように、過去に幾度と地震が起きていて、今後も必ず起きることが予想される南海トラフ地震。過去の経験を活かし、同じような被害を受けないように準備することが大切です。

そして地震災害を防ぐこととはできませんが、被害を減らす「減災」は行うことができます。

町では、今年度も木造住宅耐震に係る補助事業、家具転倒防止対策および危険なブロック塀の撤去などに係る補助事業、地区防災計画および避難所運営マニュアルなどの作成支援、自主防災組織への資機材整備補助事業など、関係機関と連携し、さまざまな対策を継続してまいります。

消防団員募集

消防団は、火災や災害時などに自宅や職場から駆け付け、消火活動・救助活動を行う非常勤特別職の地方公務員です。

消防団の活動は消火だけではありません。地域における消防・防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守る重要な役割を担っています。

また、近年は、女性消防団への参加も増加しており、特に一人暮らし高齢者宅への防火訪問や応急手当の普及指導などにおいて活躍しています。

消防団は、誰でも参加できる活動です。会社員の方、自営業の方、主婦の方など、年齢・性別・職業を問わず、さまざまな方が参加しています。

町には、14の分団があります。消防団に入るには、お住まいの地域を管轄する分団、または左記のお問い合わせ先までご相談ください。



お問い合わせ

【本庁】情報防災課 消防防災係

☎43-2188

【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係

☎55-3113